

彰 SHOU 往 OU 察 SATSU 来 RAI

— 20年目の角間キャンパスから城内を想う —

毎年秋に行う特別展、今年のテーマは「彰往察来」。

中国の古典『易経』にある「過去を見直して未来に生かす」という意味のことばを胸に、写真で今も懐かしむ人の多い丸の内(城内)キャンパスを振り返ります。

平成21年は、角間キャンパス移転20周年、新制金沢大学創立60周年、そして資料館の設立20周年です。

いくつもの「節目」が重なるこの年におこなう、セピア色の企画。

あなたは、どこにいるでしょうか？

会期：平成21年10月15日(木)～11月13日(金) 10:00～17:00

土・日・祝休館(10月31日(土)、11月1日(日))は開館)

会場：金沢大学資料館展示室(角間キャンパス中央図書館内)

※ ホームカミングデイは金沢城公園内に第二会場を特設

入場料：無料

最新情報：<http://muse.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

問い合わせ：museum@adm.kanazawa-u.ac.jp



1949(昭和 24)年に誕生し、多くの学生・市民に愛され親しまれた金沢大学の丸の内キャンパス(金沢城内)は、教育研究の拡大・充実に反比例して校舎・設備の狭隘化・老朽化が進み、キャンパスの総合移転が計画されるにいたりました。

1977(昭和 52)年「将来計画検討委員会」において、「キャンパス問題に関する専門委員会」が設置され、1989(平成元)年から移転が始まり、2005(平成 17)年、工学部の角間キャンパス自然科学研究科棟への移転をもって終幕を迎えました。

こうして、1984(昭和 59)年の総合移転整備事業起工式から 2 期約 20 年間にわたった一大事業は完遂されたのです。

「金沢大学総合移転基本設計全体模型」

金沢大学施設部旧蔵
株式会社ヤマネ製作



これは第 1 期総合移転計画の初期構想に基づく模型なので、建物のデザインや位置が実際とは少々違います。例えば、画面中央のアカンサスインターフェイスの、やや右上。アーチ型の茶色い屋根をもつ建物は図書館です。しかし、完成した姿が白い円筒形の吹き抜けが特徴の、赤煉瓦色の建物であることは、ご存じのとおりです。随所に見られる「計画と実行の距離」も味わいながら、展示をお楽しみください。



限定イベントのご案内

ホームカミングデイに合わせて、特別展も角間を飛び出し、金沢城公園特設会場で写真パネルの展示を行います。

期間：
10月28日(水)
〜
11月12日(木)

会場：
金沢城公園
ミニギャラリー



交通のご案内

☆資料館展示室まで☆

北鉄バス「金沢大学」行き利用、
「金沢大学中央」バス停下車、徒歩 5 分。
JR 金沢駅東口からの所要時間は約 40 分です。

